

くわなっ子 あそばなあ

「あそばなあ」は桑名弁で、
「遊ばなきゃ」という意味です。

令和3年3月発行

発行：子ども未来課 子ども・子育て市民情報部会

(子ども・子育て応援センター「キラキラ」内 ☎ (0594) 84-6039)

少しずつ春めいてきましたね。時には、ベランダでランチタイムはいかがですか。

レジャーシートとおにぎりだけでもピクニック気分になれますよ。

肌寒い日には、室内でミニテント！

中におもちゃを持ち込んだり、おやつを食べたり、
寝転んだり。あるだけで楽しいですよ！！

ミニテントの代わりに、段ボールでもOK！

テントは、災害時にも便利です
次号、防災特集でご紹介します。

暖かい日には、近所でお散歩♪

拾った葉っぱ、草花、石ころだって、額縁に入れば素敵な作品に！

段ボールにマスキングテープを貼るだけで、額縁を作れますよ♪

~~~桑名に伝わる妖怪話を  
一部紹介します~~~

~~~桑名に妖怪がすんでいるという話を聞いたことがありますか~~~



絵：伊藤 隆一さん 桑名市益世地区自治会連合会 HP 桑名妖怪録より

「水呑み竜」 城山町

走井山観音堂の天井絵の竜が夜になると抜け出して町屋川の水を飲みに行つたので目に大釘を打つと抜け出さなくなったと言ふ

「飴買い幽霊」 清水町

子供を身ごもつたまま死んだ女の人が、墓の中で産んだ赤ん坊を育てるため、浄土寺門前の飴忠と言ふ飴屋に飴を買いに来たと言ふ

「どっち亀」 揖斐川

「どっちが しんのこ抜きに来る」どっち亀（スツポン）は津島の水天宮様のお使いであり津島祭に人のしんのこ（尻子玉）を献上するために抜くので祭が近づくと子供達は揖斐川で遊ばない

毎年8月に、桑名市走山勸学寺の秘仏千手観音の御開帳会式（通称「十日観音」）があります。「走井山の十日観音」は、江戸時代から桑名の風物詩の一つであり、昔は北勢線が出て、参道の階段が人であふれるほどであったそうです。学問の神様です。

桑名市のHPに載るほど有名なお話です！清水町のお寺では、地藏盆に「幽霊飴」を販売しているそうです。

尾張津島天王祭は、毎年7月第4土曜、日曜に開催しています。

<親子でクッキング>

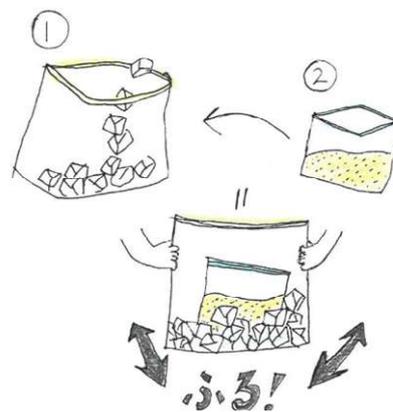
アイスクリーム作り

（準備するもの）

ジッパー付きビニール袋（大）（小）、氷、塩、牛乳（200ml）、生クリーム（100ml）、砂糖（20g）卵黄（1こ）

（作り方）

- ① ジッパー付きビニール袋（大）に袋が半分埋まるくらいの氷と塩（大さじ6杯くらい）を入れる。
- ② ジッパー付きビニール袋（小）に牛乳（200ml）と生クリーム（100ml）、砂糖（20g）卵黄（1こ）を入れ軽く混ぜる。
- ③ ①の袋に②の袋を入れ5分ほど振ったり揉んだりする。⇒出来上がり～（気温などによって固まらないこともあります）



手が冷たくなったらバスタオルにくるんで親子で一緒に振って楽しく作ってね！

<次回予告>

☆子どもがいる家庭でできる、災害対策 ☆妖怪特集第二弾！

次回は、夏に発行予定です。お楽しみに